

～TANKYU～

谷地南部小学校
校内研究だより
2022. 12. 6
No.39 文責 伊藤

コロナ禍での異学年交流

少し前にはなりますが、11月14日～11月21日にかけて、3年生と1年生の交流の時間を作らせてもらいました。今回の交流は、3年国語「はんで意見をまとめよう」の発展の活動でした。名前からもわかるように、話し合いの進め方やルールについて学んで実際に話し合う活動をしたのでした。単元の初めに子ども達と学習のゴールを考えた時に、「1年生に南部小の図書室にある本をもっと知ってもらいたい・紹介したい」という思いから小林先生に提案させていただきました。

話し合いの目的が『1年生が楽しめる』本を選ぶ（紹介する）だったので、子ども達は「話の長さ」「イラストの有無」「漢字の有無」などを話し合いの視点にしているようでした。目的がはっきりすると、子ども達の話し合いも活発になるし主体的に話し合うようになるのだと、私自身が実感した時間でした。

実際に朝休みの時間に読み聞かせに行った後は、1年生からもらった感想や自分たちの振り返りをもとに、教室に着くまでの短い反省会です。（廊下でしゃべってすいません。）本を持つ角度や視線、読むスピードなど、様々な角度からの振り返りが出されました。驚いたのが、その振り返りを朝の会の中で次のグループに伝達して引き継いでいたのでした。低学年でたくさんの経験をして育てた力を発揮しています。

3年生も、下学年の中では最高学年。
これまで奥山先生と積み重ねてきた経験や力をフルに
発揮して、かっこのいいお兄さん・お姉さんです！

